

令和2・3年度 第13地区コミュニティ役員

◆役員紹介

※新任

地区会長	五月女光男(内水海)	理事	※福島 勝美(北新町)
副会長	西沢 市郎(高野)		桜井 一夫(内水海)
	藤本 学(上砂井)		※安岡 実(内水海)
	飯田 明(前林)		※因泥 康友(前林)
会計	染谷 隆(前林)		小島喜久男(上砂井)
監事	佐藤 博史(北新町)		※山佳 華(町水海)
	森 良明(砂井新田)		※落合 隆之(高野)
書記	能城 忠雄(町水海)		枝 正男(砂井新田)
	大久保順一(高野)		

◆各委員会

◎委員長 ○副委員長

行政区	広報委員会	交通委員会	防災委員会
内水海	◎ 梁河 紀栄	※○岡安 実	桜井 一夫
町水海	能城 忠雄 ※ 山佳 華	※ 新井 紀一	※ 宮本 和幸
砂井新田	枝 和夫	※ 枝 正男	森 良明
上砂井	小島喜久男	藤本 学	※ 高塚 達雄
北新町	※ 佐藤 博史	◎ 稲葉 信也	※ 中村 光晴
前林	※ 因泥 康友	※ 小林 信一	※○飯田 明
高野	○ 塩田 清七 落合 隆之	※ 宇都木美喜男	◎ 大久保順一
水海小学校	(教頭) 西 俊隆		
水海小PTA	(会長) 上野 征志		



第十三地区コミュニティ
会 長 五月女 光男

とねの絆

第16号
古河市第13地区
発行
令和3年2月28日
とねの絆会
広報委員会



時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第十三地区内の皆様におかれましては、日頃より地区コミュニティ活動にご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年十二月、中国・武漢市で原因不明のウイルス性肺炎患者が報告され、その時は身近に感じる事なく報道をみていました。日本人的感染確認、新型コロナウイルスが判明、瞬間に世界中に感染拡大しました。日本では、四月十六日に政府より全都道府県に緊急事態宣言に拡大され、生活の維持に必要な場合を除いて外出の自粛、多くの人が集まる施設の使用制限

などが要請されました。五月二十五日には緊急事態宣言は解除されましたが、今も新規感染者が確認されています。(十月十一日現在・古河市内で感染が確認された方・四十八名)このような状況のため、地区コミュニティ活動は年内ほぼ中止になっています。

国の専門家会議の提言において、感染拡大を予防する「新しい生活様式」へ移行していく必要があるとして、具体的な実践例が示されました。すでに実践されているとは思いますが、改めて自覚を持って生活に取り入れて頂きたいと思っております。

令和二年度
功労感謝の会について

砂井新田行政区長 森 良明

年明けに早々新型コロナウイルスの蔓延に伴い、三密状態となる集まりはできず、殆どの行事を中止する状況となりました。これに伴い、例年行っていました功労感謝の会についても役員等で相談し、やはりやむなく中止と致しました。しかし長年行政区のためにご苦労をされてきた先輩方に何かできないかと考え、ささやかではありますがありますが記念品として紅白のお饅頭をお配りさせて頂きました。

今後この状況が改善され、元通りの行事ができる事を祈りたいと思っております。

釈水水門完成に伴う一級河川
女沼川河川改修事業説明会

町水海 能城 忠雄



今、できる事

水海小学校長 蛭原 啓子

新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休校で、令和二年度は、六月から始まりました。休校期間中の五月末、六月一周目の二週間が分散登校で、本格的に学校が再会したのは、六月八日でした。児童が登校し、元気な姿を見て、弾けるような声を聞いた時は、「これこそが学校だ」と思いました。

学校再開から五ヶ月たった今も、マスク着用・ソーシャルディスタンスを意識しての学校生活と、今まで当たり前前にできていた教育活動が十分にできていない状態です。PTA本部役員の方々の協議により、これまでに地域の皆様に公開していた運

動会や水海小フェスタも中止という苦渋の決断をいたしました。本当に申し訳なく思っております。

何かと制約の多い現在の生活ですが、今できる最善のことを実行していきたいと考えています。一八一名の児童にとって、「失われた一年」にならぬよう精一杯努力していく所存です。

私たち水海小教職員一同、「子ども達がわくわくしながら通える学校」「保護者の方々が安心してお子さんを任せられる学校」「地域の皆様に信頼される学校」を目指して力を注いでまいります。今後どうぞよろしくお願いいたします。



十一月十七日(火)、内水海改善センターにおいて「積水水門完成に伴う一級河川・女沼川・河川改修事業説明会」が開催されました。陳情側として永岡桂子衆議院議員、高橋カツノリ県議会議員、針谷力古河市長とともに茨城県境工事事務所長、改修課長から説明を受けました。

それによると、①積水水門が完成、女沼川の一部が拡張、②拡張された箇所では過去の水量よりも六倍の水量を保持(周辺地域の内水氾濫による完遂箇所(減少)、③全長十二km、積水水門の完成により水門以下は廃水、④シヨートカットの箇所を新設同時に向堀川、女沼川のし

交通指導

交通委員長 稲葉 信也

新型コロナウイルスの緊急事態宣言を受けて春の全国交通安全運動の立哨活動は中止になりました。

夏の交通事故防止県民運動、秋の全国交通安全、年末の交通事故防止県民運動は、どうか立哨活動が出来ました。

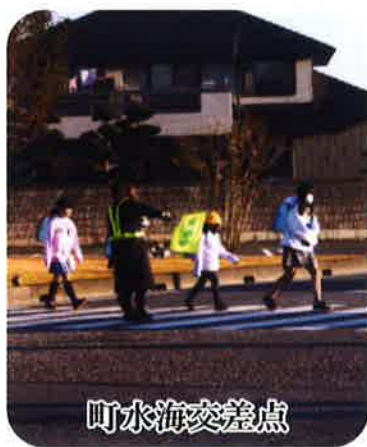
会員の方々には、朝の忙しい時間に参加していただきお疲れ様でした。来年度は、新型コロナウイルスに留意し、小学校の登校日に合わせ行います。

新型コロナウイルスの収束を願っています。

ゆんせつ(水海橋付近の道路寸断解消)⑤交通事情を考慮した橋梁の架け替えなどで事業が遅延しているとのことですが、利根川の流域にあり、内水氾濫が心配される十三地区としては、早期の改修事業の完成を望むとともに、水害など防災への心構えをしつかり持っていていくものです。



4号バイパス歩道橋



町水海交差点



内水海通学路



水海小学校入口交差点



積廻西交差点

市長と語ろう・
まちづくり

町水海 能城 忠雄

九月二十七日(日)とねミドリ館で「市長と語ろう まちづくり」が開催され、市長からの古河市のまちづくりについての説明、続いて意見交換が行われました。市長から古河市の課題として、①人口減少への対応、②成長力の確保、③社会資本(公施設など)の老朽化への対応、④行政事務のAI化や自動化、⑤自然災害や感染症対策という喫緊の課題があるとのことでした。それらを受けて、第II期基本計画に基づく新しいまち作りがスタートしたとのことでした。

①市民協働、②健康福祉、③教育文化、④産業労働、⑤生活環境⑥都市基盤、⑦行財政の7つの政策目標を設定して取り組んでおり、一部成果も上げつつあるとのことでした。企業誘致が進み、古河市の「製品出荷額等」が県内市町村で2番目の規模に上昇したり、小・中学校におけるGIGAスクール構成(IT化)の取り組みが加速しているという説明を受けました。

続いての意見交換では、参加者が意見を出し、市長や市の関係者が答弁するという形で勧められました。主な答弁ですが



①コロナウイルスの影響で閉店した店舗も出てきたが、市としても注視していきたい。②古河中等教育学校卒業生が国公立大学の整備が進められているが、高校の県外進学も多く、途上というところである。③インフラ整備の基盤は道路整備にあるが、道路に関する費用で6割が修復、4割が新設となっている。陥没補修など住民の要請にすぐに応えられるように取り組んでいる。④町水海行政区でも空き家が見られるようになったが市内全体では、二千軒の空き家がある。空き家は、私有財産ということもあり、公的に手を入れることが難しい。⑤総和地区では市道が農道を基盤として設置されていることが多く、道路拡張が難しいが、U字溝をL字溝に代えることで各町に制限のある道路整備が出来ないものかと検討しているとのことでした。

自助・公助・共助という言葉がちまたに広まっています。市の対策が公助であるならば、共助として町水海行政区が何をなすべきなのかを考えるいい機会でした。

思い出に残った
スポーツフェスティバル

六年 菊田 麗未

今年は、新型コロナウイルスの影響で運動会はできませんでした。少しでも運動会のような行事をと、スポーツフェスティバルが行われました。

去年までは赤組と白組で争っていました。今年は一年から六年生で構成された「縦割り班」をもとに六つのチームに分けて競い合いました。

ダンスやへびおにジャンケン、玉入れ、綱引きを行いました。年れいが異なる班のメンバーと一緒に、楽しく活動ができてうれしかったです。六年生として体育的な行事の思い出ができました。



綱引き

コロナ禍における 本校の取り組み

水海小学校教頭 西 俊隆

本校で取り組んでいる主な対策（十月三十日現在）についてご紹介いたします。

① ソーシャルディスタンスの確保

教室は、隣席との空間を最大限確保できるように配慮としていきます。水道、トイレには、印（足跡型）を設置しています。順番を待つ際に待機する場所を



指定することで、ソーシャルディスタンスを確保しています。また、全校児童が体育館に集合するような集会ではなく、オンラインによる集会を実施しています。

② 飛沫の防止

音楽の時間は、リコーダーや鍵盤ハーモニカの学習を極力控え、代替教材としてオルガンや打楽器等を使用して学習していきます。

水道には、隣の蛇口との境にビニールシートやついたてを設置しています。

給食の場面でも、前向き給食を実施する等の飛沫防止策を講じています。

③ 消毒及び清掃作業

手指のアルコール消毒はもちろんのこと、教室の消毒は放課後、次亜塩素酸ナトリウムを用いて、担当がスイッチや窓の鍵配膳台等を拭いています。また、職員によるトイレ・流し清掃を行い、清潔な空間を保つよう心がけています。

今年度は、運動会等の学校行事が中止となるなど、児童にとっては窮屈な上に例年どおりの経験ができていない現状があります。早く今までの生活に戻る事を願っています。

水海小学校PTA会長

上野 征志

PTA活動を通して、子供たちが安心して過ごせる地区コミュニティにしたいと思っております。この根本にある地域をよく知る住民が中心となり、地域自治の実現を目指す活動が重要だと思えます。

そして子供たちと保護者もその活動について協力する事で、水海小学校の子供たちが楽しい学校生活を送れるための環境づくりになると思います。

地域の皆様には引き続き子供たちが安心して生活できるように見守っていただけたら幸いです。



高野ローソク地蔵尊祭

高野 大久保 順一

今年の、ローソク地蔵尊祭は新型コロナウイルス感染防止のため盆踊りや花火大会は中止して、地蔵尊祭のみ時間を短縮し、八月二十三、二十四日開催しました。会場には、手指消毒液、マスク等を用意しました。役員世話人達は最小人数でマスクを着用して参拝者に対応しました。今年は、コロナ禍のため参拝者は少ないのではと思いましたが、地元の人や近隣の人達、遠くは新聞のニュースを見て水戸から来た人など多くの方々が地蔵様にローソクを立て火を灯し、手を合わせて、病の完治や健康を祈ったり、新型コロナウイルスの終息を祈ったりする人もおりました。

今年の地蔵尊祭は規模を縮小して開催しましたが新型コロナウイルスの発生も無く終了することができました。

編集後記

令和二年度早々から新型コロナウイルスの感染が都心から全国へと感染し現在は、緊急事態感染宣言の基、県や古河市にも多くの事業・活動の制約や禁止が出されています。そのため広報紙の原稿収集が難しくとねの絆一号のみとなりました。

少ない行事や活動の中、多くの方々のご協力を頂きありがとうございます。

(二月十四日現在)古河市の感染者数は二百七十七名。

広報委員長 梁河 紀栄